

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院高度救命救急センターに緊急受診された患者さんへ

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、緊急受診時に診療上必要と判断し行わせていただいた検査データや聴取させていただいた診療情報を振り返り解析する「前向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。診察上必要な情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

救命救急センターER 初療時 CT 見逃し所見に関する前向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 助教 柴田尚明

3. 研究の目的

行われた CT 検査の中には、ある一定の割合で、治療を要する異常所見が見逃されることがあります。しかし、救急外来を受診され CT 検査を行われた患者さんの中で、どの程度の割合で、どのような内容の見逃しが発生するのか、また見逃し発生にどのような要因が関わっているのかは、明らかにはなっていません。そこで、本研究は、当院救急外来で撮像された CT の見逃し発生実態およびその関連因子を明らかにすることで、患者さんへ適切な治療をできる限り迅速に行うことを目的としている。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

和歌山県立医科大学附属病院 高度救命救急センター救急外来を緊急受診され、2019年4月1日から2020年3月31日までの期間中に CT 検査を受けられた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、患者さんの年齢、性別、基礎疾患、嗜好歴、受診時の全身状態、CT 所見、転帰です。

(3) 方法

電子カルテに救急外来担当医師が記載した患者さんの臨床診断、治療方針などの情報と、放射線科医が記載した CT 読影所見を比較し、見逃し所見を抽出し、統計学的に解析します。

なお、統計学的解析は、2020年4月1日から2021年3月31日に行う予定としております。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学 救急集中治療医学講座 担当医師 柴田尚明

TEL : 073-441-0603 FAX : 073-447-2360

E-mail : eccm@wakayama-med.ac.jp